

## 今回の会議でのご意見及び課題への対応（令和4年3月）

令和4年3月

金沢北年金事務所

（石川県代表年金事務所）



# 地域年金事業運営調整会議（ご意見） 令和4年3月

	ご意見等の内容	機構としての考え方
地域連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での対面での活動が困難な中、リーフレット配布中心の活動はやむを得ない。</li> <li>・コロナ禍において対面の相談業務が困難を極める中、電話・文書による相談は可能。インターネット環境を有効活用し従来の見識にとられない相談業務（ホームページを使ったメールやチャット等）を前向きにチャレンジしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での年金制度説明会等については、リーフレット配布等の非対面での活動が中心となりました。今後は、リーフレット配布とあわせ、先方の意向確認をして対面・非対面による制度説明会等をより取り組んでいきます。</li> <li>・インターネット環境を活用した相談業務については、ねんきんネットを利用した記録確認等が出来ます。マイナポータルからのアクセスも可能になり以前より使いやすい環境になっています。また、ホームページには「相談チャット総合窓口」により一般的な相談にお答えしています。今後とも広報等について取り組んでいきます。</li> </ul>
年金セミナー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生向けの年金セミナーはコロナ禍で大学が減少したものの高校が増加したことは評価したい。</li> <li>・若年者層への年金教育は非常に有意義、引続きセミナー開催のアプローチとセミナー開催を積極的に推進してほしい。</li> <li>・若年層に対する年金情報の提供は年金保険料納付に大きく影響することから特に重要と考える。</li> <li>・地域年金推進委員（教員OB）の委嘱が一向に進まないのは残念。</li> <li>・会社退職者は将来の年金生活に不安を抱えている者が多い。インターネットによる知識の習得は可能であるが、その人が必要な内容に的を絞ったセミナーは有効である。リモートを利用したセミナーの拡大により多くの人に参加する環境整備を希望する。</li> <li>・各種団体の行事を活用して年金制度研修会を実施してほしい。ターゲット（学生・若年層・女性）を絞った研修会は有効と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金セミナー事業は、若年層（学生）に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、年金制度が身近で重要なものであることを学んでいただくための有効な取組みであると考えています。今後も、教育機関等にご協力をいただき、公的年金制度の周知活動に取り組んでいきます。また、教育委員会等に協力依頼の上、年金委員の委嘱に向けて取り組んでいきます。</li> <li>・引続き教育委員会等に協力依頼をして委嘱に向けて取り組んでいきます。</li> <li>・オンラインでの年金セミナー・制度説明会を、その時期にあわせた情報を配信できるよう取り組んでいきます。</li> <li>・各種団体行事での研修会開催を協力依頼いたします。</li> </ul>

# 地域年金事業運営調整会議（ご意見） 令和4年3月

	ご意見等の内容	機構としての考え方
年金委員活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で社会保険委員会の活動が停滞しているため、オンライン研修を開催したことは評価したい。</li> <li>・定期的な事務手続きのサポートや改正時にタイムリーな情報提供をお願いしたい。提供方法も紙に限らずホームページへの誘導、様々なメディアを使った広報の拡大をしていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金委員の方々への年金制度周知については、コロナ禍の中でオンライン研修の開催に取り組みました。今後も、「機構からのお知らせ」等を活用し、制度周知を図るとともに、できるだけタイムリーな情報提供を取り組みます。</li> </ul>
地域相談事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学向け相談コーナーはコロナ禍で開設出来なかったが、コロナ禍であっても出張年金相談所は相談件数が少なくても出来るだけ開催してほしい。</li> <li>・職域型年金委員の委嘱拡大を進めていただきたい。年金の企業窓口として理解と協力を得ることは地域相談事業を行ううえで重要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学向けに相談コーナーの設置は、20歳前後や卒業の節目での国民年金手続きを含めた若年層への年金制度周知として、重要な取り組みと考えます。感染防止対策の徹底とあわせ、教育機関のご協力をいただき取り組んでいきます。</li> <li>・年金委員の拡大に向けましては、「機構からのお知らせ」等の広報を活用し、随時勧奨案内を図ります。</li> </ul>

# 地域年金事業運営調整会議（ご意見） 令和4年3月

	ご意見等の内容	機構としての考え方
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域年金事業運営調整会議の開催について、「原則書面開催」とあるが、「Web会議開催」を検討希望する。</li><li>・地域年金事業運営調整会議の開催方法について、対面やWeb開催を検討願いたい。取組みの説明や年金セミナーの実演を視聴することで年金事務所の活動が委員に伝わる。</li><li>・コロナ禍の影響は今後も継続するため、引続きオンライン活用を前提とした取組を進めて欲しい。</li><li>・コロナ禍による活動制限は理解するが、公的年金制度の啓発・普及に取り組んでください。</li><li>・年金協会の行事に年金制度の広報を行うので資料提供願いたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域年金事業運営調整会議の開催方法については、コロナ禍での感染防止対策及び感染リスクを考慮した上で、開催方法を検討します。</li><li>・公的年金制度を持続的に運営していくためには、国民に公的年金制度に対する正しい知識理解を深めてもらうことが重要であるため、今後も啓発・普及に取り組むとともに、日本年金機構のオンラインビジネスモデルを進めていく中で、オンライン開催等、対面型から非対面型による取組みを進めていきます。</li><li>・リーフレット等の資料提供を行います。</li></ul>